

令和5年度

第46回通常総会議案

と き 令和5年5月10日(水)

ところ 兵庫建設会館 アクシスホール

兵庫県土木施工管理技士会

神戸市西区美賀多台1丁目1番地の2
(一社)兵庫県建設業協会内

第 次

I 開 会

II 会 長 挨 拶

III 来 賓 挨 拶

IV 表 彰

V 議 事 事 項

第1号議案	令和4年度 事業報告	1 頁
第2号議案	令和4年度 収支決算	6 頁
第3号議案	令和5年度 事業計画	10 頁
第4号議案	令和5年度 収支予算	12 頁
(参 考)		
役員名簿		14 頁

VI 閉 会

第1号議案 令和4年度事業報告

1 会議の開催

(1) 第45回通常総会

開催年月日	議 事 事 項
R4. 5. 9 兵庫建設会館	1 令和3年度事業報告の承認 2 令和3年度収支決算の承認 3 令和4年度事業計画 4 令和4年度収支予算 5 会則の一部改正 6 役員の選出

(2) 正副会長会

開催年月日	提 案 事 項 等
R4. 12. 14 神戸市教育会館	1 令和5年度 CPDS 認定プログラム開催計画 (1) 開催エリア、開催回数の拡大 (2) 開催メニュー、開催方法
R5. 3. 24 兵庫建設会館	1 令和4年度事業の執行状況 (1) 第 46 回通常総会の招集 (2) 役員会 (3) CPDS 認定研修プログラム、会員への助成プログラム (4) 事業決算見込 2 令和5年度の事業計画、予算等

(3) 役員会

開催年月日	提 案 事 項 等
R4. 5. 9 兵庫建設会館	1 令和4年度第 45 回通常総会議案 (1) 令和 3 年度事業報告の承認 (2) 令和 3 年度収支決算の承認 (3) 令和 4 年度事業計画 (4) 令和 4 年度収支予算 (5) 会則の一部改正 (6) 役員の選出 2 全国土木施工管理技士会連合会会長表彰者
R4. 12. 14 神戸市教育会館	1 兵庫県土木部との意見交換会の開催 2 近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿地区ブロック 連絡協議会との意見交換会の提案事項 3 インボイス制度に関連した全国土木技士会各種料金の見直し 4 令和 5 年度 JCM セミナー等の概要 5 国土交通省と(一社)全国土木施工管理技士会連合会との 意見交換会の開催

2 全国土木施工管理技士会連合会会議

開催年月日	内 容
R4. 6. 3 アルカディア市ヶ谷	(一社)全国土木施工管理技士会連合会令和4年度定時総会
R4. 12. 8 アルカディア市ヶ谷	(一社)全国土木施工管理技士会連合会事務局長及び実務担当者合同会議

3 CPDS 認定講習会等の開催

(1) 技術研修会

開催年月日	講習会等の内容
R4. 5. 9 (兵庫建設会館) (参加者 140 名)	第1回技術研修会 (CPDS3ユニット) ①「公共工事をめぐる最近の話題」 近畿地方整備局企画部 技術調整管理官 中川 圭正 氏 ②「兵庫県の社会基盤整備について」 兵庫県土木部技術企画課 副課長 熊田 登宇 氏 ③「3D データを扱うために必要な知識」 熊本大学モデル空間研究所 研究員 増田 敦彦 氏
R4. 7. 27 (尼崎商工会議所) (参加者 78 名)	第2回技術研修会 (CPDS6ユニット) ①「ICT 活用工事の取組み」 ㈱田村組土木部土木第1課 課長代理 三軒谷 和也 氏 ②「公共事業に係わる最近の動向」 ㈱大林組大阪本店土木事業部 工事第一部参与 安藤 佑治 氏 ③「建設現場における DX の活用」 ～果敢に挑戦する年に～ 国土交通省近畿地方整備局 近畿技術事務所長 増田 安弘 氏 ④「橋梁メンテナンスのポイント」 ～DX時代における技術習得の「筋トレ」法～ (一社)橋梁延命化シナリオ研究会 理事・幹事長 中山 昭二 氏 ⑤「心理学から見た指差呼称」 濱口労働安全コンサルタント事務所 代表 濱口 敦 氏
R4. 8. 22 (豊岡市民プラザ) (参加者 79 名)	第3回技術研修会 (CPDS6ユニット) ①「ICT 活用工事の取組み」 ㈱田村組土木部土木第1課 課長代理 三軒谷 和也 氏 ②「公共事業に係わる最近の動向」 ㈱建設技術研究所 顧問 大西 博 氏 ③「建設現場における建設 DX の活用」 ～果敢に挑戦する年に～ 国土交通省近畿地方整備局 近畿技術事務所長 増田 安弘 氏

	④「令和4年度版 BIM/CIM 時代の3D データ作成」 福井コンピュータ(株) 神戸オフィスリーダー 有賀 正照 氏 ⑤「建設業を取り巻く現状・課題と建設業法について」 兵庫県土木部契約管理課 建設業班長 栗田 圭介 氏
R4. 11. 16 (姫路じばさんびる) (参加者 92 名)	第4回技術研修会 (CPDS6ユニット) ①「環境と土木」(資源循環、環境配慮等) (公財)ひょうご環境創造協会 環境技術専門員 築谷 尚嗣 氏 ②「建設事業を巡る最近の話題」 (一財)先端建設技術センター 近畿センター長 宮川 久 氏 ③「建設現場における DX の活用」 ～果敢に挑戦する年に～ 国土交通省近畿地方整備局 近畿技術事務所長 増田 安弘 氏 ④「レーザー・写真計測、ドローン、人工知能(AI)などの 先進技術を活用した3次元デジタル対応の土木施工」 京都大学名誉教授 大西 有三 氏 ⑤「現場パトロールの重点ポイント」 安全教育センター所長 労働安全コンサルタント 角田 淳 氏

(2) JCMセミナー等

開催年月日	講習会等の内容
R4. 7. 12 (兵庫建設会館) (参加者 65 名)	JCMセミナー (CPDS4 ユニット) 「事例から学ぶ現場の失敗のしくみ Part2」 ケイヨーエンジニアリング事務所 代表 堺 逸郎 氏
R4. 9. 6 (兵庫建設会館) (参加者 63 名)	JCMセミナー (CPDS4 ユニット) 「土木工事現場のための基礎から学ぶ安全衛生管理」 三木労働安全・技術コンサルタント事務所 所長 三木 充 氏
R4. 10. 7 (兵庫建設会館) (参加者 60 名)	JCMセミナー (CPDS4 ユニット) 「よいコンクリートの構築と延命化技術」 近未来コンクリート研究会 代表 十河 茂幸 氏
R4. 8. 29 (浜坂建設会館) (参加者 42 名)	DVDセミナー (CPDS3 ユニット) (兵庫県建設業協会 浜坂支部) 「維持管理基礎講座 河川編」
R4. 10. 18 (淡路建設会館) (参加者 28 名)	DVDセミナー (CPDS4 ユニット) (兵庫県建設業協会 淡路支部) 「維持管理基礎講座 道路(舗装)編」

R5. 1. 13 (姫路建設会館) (参加者 80 名)	近畿地方整備局 出前講習会 (CPDS4 ユニット) 「水防災意識社会の再構築に向けた取り組み」 「i-Construction (ICT建設機械による情報化施工)の推進」ほか
R5. 2. 3 (南但建設会館) (参加者 38 名)	近畿地方整備局 出前講習会 (CPDS3 ユニット) 「国土交通省の入札・契約制度」 「建設関係新技術の活用」

4 会員の講習、セミナー等受講への助成

プログラム名	助 成 内 容 等
ドローンフライト講習 受講	所定の手続きを経て、ドローン・エキスパート・アカデミー兵庫校のドローンフライト講習を受講し、技術証明書を取得した場合に受講料の一部を助成。 5 日間 (CPDS34 ユニット)、5 名、助成額 100 千円/人
e ラーニング受講	所定の手続きを経て、(同)クロソイドの e ラーニング (CPDS 認定学習) プログラムを申込み、受講する場合の受講料の一部を助成。 12 講座 (最大 CPDS12 ユニット)、204 名、助成額 960 円/人
オンライン LIVE セミナー 受講	所定の手続きを経て、ストラテジクス マネジメント(株)の e ラーニング (CPDS 認定学習) を申込み、受講する場合の受講料の一部を助成。各回 2 時間 (CPDS2 ユニット)、助成額 2,500 円/人 第1回「施工計画の立案」9 月 27 日、23 名 第2回「無人航空機の活用」10 月 28 日、21 名 第3回「ICT 建設機械による施工」11 月 15 日、25 名

5 兵庫県土木部との意見交換会

開 催 年 月 日	提 案 事 項 等
R4. 12. 14 (神戸市教育会館)	1 契約図面と現況の整合性の確認 2 工事設計内容の見直し (1) 新技術・新製品の積極的な採用 (2) プレキャスト製品の積極的な採用 3 工事成績評価の見直し 4 入札・契約の制度・手続 (1) 総合評価落札方式(施工能力評価型)における ICT 活用 (2) ランダム係数を使用した最低制限価格の取扱い 5 建設キャリアアップシステムの普及に向けたシステム連携 6 DX 推進費用の行政負担

6 近畿地方整備局との意見交換会

(土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会)

開催年月日	提案事項等
R5. 2. 14 (KKR ホテル大阪)	兵庫県土木施工管理技士会 ・働き方改革に向けた働きやすい環境整備の推進 福井県土木施工管理技士会 ・工事発注時における設計内容の改善提案 (一社)滋賀県土木施工管理技士会 ・コンクリート構造物のプレキャスト化の推進 京都府土木施工管理技士会 ・基礎工と下部構造における鉄筋組立 大阪府土木施工管理技士会 ・土木工事現場に ICT ツールを導入した会社への加点措置 和歌山県土木施工管理技士会 ・舗装と維持修繕工事における積算の見直し 奈良県土木施工管理技士会 ・設計の違算や現場との乖離

7 情報資料の配付

(ホームページにも掲載)

(一社)全国土木施工管理技士会連合会の広報誌 「JCMレポート」の会員への配付 (郵送希望者)	5、7、9、11、1、3月 (隔月発行)
--	-------------------------

第2号議案 令和4年度収支決算

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(収入の部)

(単位:円)

科 目		予算額(A)	決算額(B)	差 額 (B) - (A)	備 考
大 科 目	小 科 目				
会 費		8,623,200	9,092,800	469,600	
	現年度会費	8,621,200	9,076,000	454,800	A 1,925名 6,930,000 B 71名 426,000 C 86社 1,720,000
	過年度会費	1,000	0	△ 1,000	
	翌年度会費	1,000	16,800	15,800	A 3名 10,800 B 1名 6,000
入 会 金		301,000	602,000	301,000	
	現年度入会金	300,000	588,000	288,000	A 156名 468,000 B 24名 120,000
	翌年度入会金	1,000	14,000	13,000	A 3名 9,000 B 1名 5,000
事 業 収 入		2,300,000	2,165,614	△ 134,386	
	一般事業収入	2,300,000	2,054,854	△ 245,146	講習会参加費、セミナー協力金、eラーニング受講費等
	分担金収入	0	110,760	110,760	5/27特別講演会(谷口土木学会長)にかかる経費分担金
助成金収入		600,000	600,000	0	
	助成金収入	600,000	600,000	0	(一社)全国土木施工管理技士会連合会支援助成金
雑 収 入		323	6,264	5,941	
	雑 収 入	323	6,264	5,941	預金利息、土木技士会プロジェクト利用料
繰 越 金		1,947,477	1,947,477	0	
	繰 越 金	1,947,477	1,947,477	0	前年度より繰越金
合 計		13,772,000	14,414,155	642,155	

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予算額(A)	決算額(B)	差 額 (B) - (A)	備 考
大 科 目	小 科 目				
事 業 費		7,830,000	6,015,787	△ 1,814,213	
	消 耗 品 費	80,000	17,768	△ 62,232	物品購入費
	印刷製本費	50,000	61,390	11,390	封筒印刷代
	通信運搬費	150,000	105,394	△ 44,606	後納郵便料、運送料
	会 報 費	120,000	78,741	△ 41,259	JCMレポート送料
	分 担 費	2,200,000	2,301,050	101,050	(一社)全国土木技士会連合会分担金、 兵庫県建産連賛助会員会費
	研修講習費	4,230,000	2,951,444	△ 1,278,556	技術研修会 4回 JCMセミナー 3回 DVDセミナー 2回 eラーニング受講費 会場設備品購入費
	助 成 金	1,000,000	500,000	△ 500,000	ドローンフライト講習受講助成金 (5会員)
会 議 費		1,230,000	909,682	△ 320,318	
	総 会 費	800,000	542,060	△ 257,940	1回
	役員会費	250,000	171,116	△ 78,884	正副会長会2回 役員会2回
	諸 会 費	180,000	196,506	16,506	兵庫県土木部 意見交換会 1回 会議旅費・経費等
管 理 費		3,975,000	4,156,920	181,920	
	委 託 費	3,820,000	4,116,318	296,318	(一社)兵庫県建設業協会委託費 会員管理システム保守・改修料 WEB集計システム保守費
	人 件 費	100,000	0	△ 100,000	
	職員交通費	5,000	0	△ 5,000	
	通信運搬費	50,000	40,602	△ 9,398	電話代
諸支出金		200,000	1,118,213	918,213	
	積 立 金	0	1,000,000	1,000,000	積立金
	雑 費	200,000	118,213	△ 81,787	被表彰者記念品費 慶弔費等
予 備 費		537,000	0	△ 537,000	
	予 備 費	537,000	0	△ 537,000	
合 計		13,772,000	12,200,602	△ 1,571,398	

収支差引額

(単位:円)

収 入 額 (①)	支 出 額 (②)	翌年度への繰越額 (①-②)
14,414,155	12,200,602	2,213,553

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

科 目	金 額(円)	摘 要
資産の部		
現 金	0	
定 期 預 金	14,000,000	積立金(みなと銀行西神中央支店)
普 通 預 金	2,213,553	繰越金(みなと銀行西神中央支店)
未 収 金	0	
資 産 計	16,213,553	
負債の部		
未 払 金	0	
前 受 金	0	
借 受 金	0	
負 債 計	0	

正 味 財 産	16,213,553	
---------	------------	--

監 査 報 告

令和5年4月12日

兵庫県土木施工管理技士会

会 長 三 木 健 義 様

兵庫県土木施工管理技士会

監 事 藤 原 伸 生

監 事 松 井 善 彦

兵庫県土木施工管理技士会の令和4年度収支決算について、監査いたしましたところ、適正であると認めましたので、報告いたします。

第3号議案 令和5年度事業計画

1 会員の施工技術の向上

会員の施工技術に関する調査研究、技術力の向上、知識の普及を図るため、積極的に次の事業を展開するとともに、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)の学習単位取得メニュー、助成プログラムの充実に努め、技術研鑽を支援する。

(1) 研修・講習会

会員の受講機会の増大、利便性等に配慮した施工技術、工法、法規に関する研修・講習会等を行う。インターネット学習(e ラーニング、オンライン LIVE セミナー)の受講に対する助成を行うとともに、(一社)全国土木施工管理技士会連合会との共催による JCM セミナー、三田建設技能研修センターとの提携によるセミナーの開催【新規①】など、ユニット取得メニューを拡充して実施する。

(2) 工事現場見学会

現場施工管理において、参考となる県内及び県外の工事現場見学会を開催する。

(3) 調査・研究

土木施工技術に関する資料の収集、関係法令の調査研究を行う。

2 関係団体その他の機関との連携強化

会員の社会的地位の向上と施工関連知識の普及のため、次の事業を行う。

(1) (一社)全国土木施工管理技士会連合会、及び近畿ブロック各府県土木技士会など関係団体と密接に提携しながら、国土交通省近畿地方整備局をはじめ関係機関との連絡協議、意見交換に努める。

(2) 入札参加者資格格付制度における継続学習制度(CPDS)の評価拡充について、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、近畿ブロック各府県土木技士会とも緊密に連携しながら要望を継続し、兵庫県土木部等との意見交換、情報交換を行う。

3 組織強化と会員増強の推進

(1) (一社)兵庫県建設業協会の協力を得ながら、組織体制の強化、会員増強に取り組み、事業内容の充実、向上に努める。

(2) 会の円滑な業務の遂行と発展を図るため、技術研修会の開催等について、会員企業と連携し協力を得る。

(3) 建設業の担い手確保の観点から、若手(入会申込時点で40歳以下)及び女性技士の入会促進をめざし、当面の措置として入会金(3,000円)免除を行う。【新規②】

4 情報共有、広報活動

土木施工知識等の情報共有と会員の資質の向上を図るため、次の事業を行う。

(1) 会報等 (一社)全国土木施工管理技士会連合会情報誌(JCMレポート)の配布及び本県土木技士会ホームページへの掲載

(2) その他 ホームページにおける本県土木技士会業務の広報等

I 三田建設技能研修センターと提携した研修プログラムの推進（新規）

当技士会の会員数（現在約 2,300 名）は年々増加傾向が続いている。会員ニーズに応じた研修プログラムの充実と、受講機会の拡大が急務となっており、5 年度研修計画においては、さらに受講しやすい開催方法、学習単位（付与ユニット）の増を予定している。

あわせて、建設労働者の育成を目的として多くの認定講習等を実施する（職業訓練法人）近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センターと提携し、同センターの研修メニューを活用した講習を実施する。

1 三田研修センターによる CPDS セミナーの開催

土木技士会（会員専用）セミナーを 10 月に開催する。

- ・講習内容 ①BIM/CIM モデルの作成と解説（1 日）
②BIM/CIM 対応 3 次元データ作成（1 日）
③兵庫県における積算対策（1 日）
- ・会場 兵庫建設会館
- ・実施内容 定員各 10 名、各 6 ユニット
- ・受講料 7,000 円／回

2 三田研修センターの若手育成研修プログラム受講料の助成

三田研修センターの実施する若手・新人育成に特化した研修への受講に対し、受講料の半額を助成する。（開催 10～11 月）

- ・研修内容 ①若手技術者実務研修（土木技術コース）（4 日間）
②測量技能研修（3 日間）
- ・会場 三田建設技能研修センター
- ・実施内容 定員 10 名（土木）、定員 5 名（測量）
- ・受講料 25,300 円／回（一般受講料 50,600 円の 1/2）

II 若手及び女性技士の入会促進をめざした取組み（新規）

当技士会では建設業における担い手確保の観点から、一層の業務効率化に向けた研修プログラムの拡充を図り、建設DXの推進や時間外労働の上限規制など 2024 年問題への対応の取り組みを強化していく。こうした取組とあわせて、受講対象となる若手・女性技術者の数を増やしていくため、新たに当技士会に入会する若手及び女性の入会促進を図ることとし、当面の措置として、入会金の免除を行う。

(1) 方 法

若手（入会申込時点で 40 歳以下）及び女性（年齢不問）技術者の個人正会員への入会金（3,000 円）を免除する。なお、年会費（3,600 円）は現行どおり。

(2) 会則の内規（会員及び会費）の改定

この取扱いについては、令和 5 年 5 月 10 日から適用する。

第4号議案 令和5年度収支予算

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(収入の部)

(単位:円)

科 目		5年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差 額 (A) - (B)	備 考
大 科 目	小 科 目				
会 費		8,848,800	8,623,200	225,600	
	現年度会費	8,846,800	8,621,200	225,600	A 1,873名 6,742,800 B 64名 384,000 C 86社 1,720,000
	過年度会費	1,000	1,000	0	科目設定
	翌年度会費	1,000	1,000	0	科目設定
入 会 金		301,000	301,000	0	
	現年度入会金	300,000	300,000	0	A 100名
	翌年度入会金	1,000	1,000	0	科目設定
事 業 収 入		3,600,000	2,300,000	1,300,000	
	一般事業収入	3,600,000	2,300,000	1,300,000	各講習受講費、JCMセミナー 協力金、eラーニング受講料等
助成金収入		600,000	600,000	0	
	助成金収入	600,000	600,000	0	(一社)全国土木施工管理技 士会連合会助成金
雑 収 入		7,647	323	7,324	
	雑 収 入	7,647	323	7,324	預金利息等
繰 越 金		2,213,553	1,947,477	266,076	
	繰 越 金	2,213,553	1,947,477	266,076	前年度より繰越金
合 計		15,571,000	13,772,000	1,799,000	

(支出の部)

(単位:円)

科 目		5年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差 額 (A) - (B)	備 考
大 科 目	小 科 目				
事 業 費		9,090,000	7,830,000	1,260,000	
	消 耗 品 費	80,000	80,000	0	物品購入費
	印刷製本費	90,000	50,000	40,000	封筒印刷代等
	通信運搬費	150,000	150,000	0	後納郵便、運送料等
	会 報 費	120,000	120,000	0	JCMレポート送料
	分 担 金	2,250,000	2,200,000	50,000	(一社)全国土木施工管理 技士会連合会分担金等
	研修講習費	5,400,000	4,230,000	1,170,000	講習開催費、受講助成費
	助 成 金	1,000,000	1,000,000	0	ドローン講習受講助成金
会 議 費		1,230,000	1,230,000	0	
	総 会 費	800,000	800,000	0	
	役員会費	250,000	250,000	0	正副会長会 2回 役員会 2回
	諸 会 費	180,000	180,000	0	意見交換会等経費
管 理 費		4,055,000	3,975,000	80,000	
	委 託 費	3,900,000	3,820,000	80,000	兵庫県建設業協会委託費、会 員管理システム保守費等
	人 件 費	100,000	100,000	0	
	職員交通費	5,000	5,000	0	
	通信運搬費	50,000	50,000	0	電話代
諸支出金		200,000	200,000	0	
	雑 費	200,000	200,000	0	慶弔費、振込手数料等
予 備 費		996,000	537,000	459,000	
	予 備 費	996,000	537,000	459,000	
合 計		15,571,000	13,772,000	1,799,000	

兵庫県土木施工管理技士会 役員名簿

(任期：令和 6 年度定時総会の終結の時まで)

〔理 事〕

支部名	氏 名	会 社 名	役 職
姫 路	三 木 健 義	株式会社 三木組	会 長
西 宮	松 田 好 生	株式会社 松田組	副会長
北播磨	田 村 勇 人	株式会社 田村組	〃
豊 岡	藤 井 良 啓	株式会社 川嶋建設 大阪支店	〃
本 部	山 田 聖 一	一般社団法人 兵庫県建設業協会	専務理事
尼 崎	森 義 仁	株式会社 柄谷工務店	常務理事
西 宮	木 嶋 一 二	株式会社 木島組	〃
神 戸	窪 田 英 朗	窪田工業 株式会社	〃
姫 路	東 郷 昭 弘	株式会社 三木組	〃
淡 路	垣 智 博	淡路土建 株式会社 神戸支店	〃
西 宮	吉 田 幸 司	株式会社 松田組	理 事
神 戸	原 正 行	寄神建設 株式会社	〃
加 印	三 木 邦 雄	前川建設 株式会社	〃
加 印	穂 原 臣 栄	株式会社 貝塚工務店	〃
姫 路	上 原 茂 樹	株式会社 神崎組	〃
姫 路	増 田 裕 成	協同建設 株式会社	〃
南 但	谷 垣 一	福井建設 株式会社	〃
豊 岡	藤 原 求	株式会社 川嶋建設	〃
浜 坂	井 上 源	株本建設工業 株式会社	〃
淡 路	三 宅 高 央	全淡建設 株式会社	〃
淡 路	斎 藤 博 士	株式会社 森長組	〃

〔監 事〕

支部名	氏 名	会 社 名	備 考
尼 崎	藤 原 伸 生	株式会社 柄谷工務店	
姫 路	松 井 善 彦	株式会社 ノバック 大阪支店	